

平成26年度（平成27年度実施）個別施策評価シート

文教厚生委員会

評価する個別施策	教育保育環境の改善
----------	-----------

項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄は必ず記入してください。

評価項目	評価基準			判断理由・評価コメント	
	点数	チェック	評価点		
個別施策の実現に向けて順調か	概ね順調	76~100		50	3つのこども園や2子目以降の無料化、保育料の負担軽減策など評価できる点もあるが、兄弟姉妹別保育園となっている状況や、低年齢児受け入れに対する問題などまだまだ不十分な点がある。
	どちらかといえば順調	51~75			
	どちらかといえば遅れている	26~50	○		
	遅れている	0~25			
構成する事務事業は、個別施策を実現するために有効か	個別施策実現のために必要な内容が不足していないか			評価する個別施策「教育保育環境の改善」については、ハード的な事業だけではなく、待機児童対策などのソフト的な事業が十分でなく、不足している。	
	無駄な事業・内容はないか（不要な事業、類似事業を含む）			無し	
	その他コメント			無し	
施策の今後の方向	注力すべき事業・内容はあるか。どのように改善するか（事業自体はあるが、改善をすべき内容を記載。委託も。）			<ul style="list-style-type: none"> ・保育士の職員採用計画を前倒しするべき。 ・市内及び近隣市町を含む潜在保育士の現状把握と復職への取り組みを強化するべき。 	
	追加すべき事業はないか（事業自体無い、あるいは、不足している内容を記載）			<ul style="list-style-type: none"> ・早期の空調機器設置など具体的な施設整備計画の実施をするべき。 ・年度途中に対する低年齢児の受け入れを拡充するべき。 ・緑の少ない岩滑こども園など、園庭の緑化や自然環境を改善するべき。 	
	廃止すべき事業・内容はあるか			無し	
	その他コメント（不要だが廃止しない場合の理由、などを記入）			無し	
総合コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・年度途中の低年齢児の受け入れや早朝・延長保育に伴う保育士確保など、高まる保育ニーズに合った環境の改善を望む。 ・個別施策を達成するための対象事業が十分でない。 				